

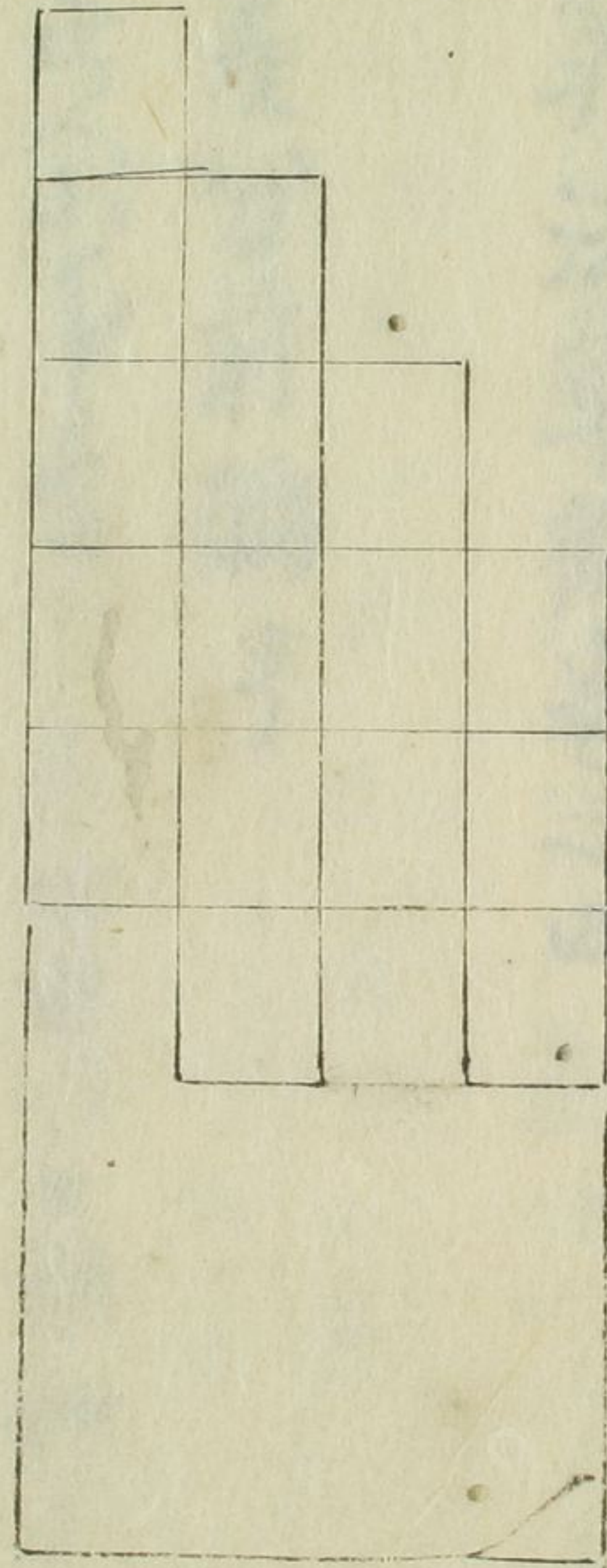


和算叢書

関流  
算法草術  
巻四

双 2  
708  
96





門 = 2  
號  
卷

關流算法草術卷之四

差分前編序

今浪とて人不多し有き書に書の大根和して浪  
式百。入多次中少拾入多裏り也。是書の大根及衣  
大根何種と云

言云 是書百貳拾入多 或書百拾入多  
三書九拾入多 二書八拾入多

前編と推し想派の如く得るべき丸の如く



魚浪

の形

頁			
頁	頁		
頁	頁	頁	
四書	四書	四書	四書
			所に書
			三書
			武書
			を書

は魚浪の形と見くくを書に青の五浪形にては

たのこ

を書に青大

浪形の形

頁			
頁	頁		
頁	頁	四書	
			所に書
			を書

はを書に青五浪形小頁二浪に拾加くを書の

五浪武限とゆ其形たのこ

加	加		
頁	頁	四書	を書
頁	頁	四書	を書

中洲云を書に青五浪の形武限とをに才の頁三浪

に拾加くを書の五浪武限武限とゆすく

を書の五浪武限とゆ

を書の五浪武限とをに才の頁拾と果減を

五浪とゆ

2  
今浪とゆふふ有武書二書五浪形にて武限

に拾六の次方の元拾八の二に書の水派を水派何れと向

三書 三書百八拾八 武書百三拾武書

三書百拾八 二書九拾六

茶術と推く惣派の取とゆゑと九のこゝ

惣派

元	元	元	二書
元	元	二書	三書
元	二書	三書	武書
二書	三書	武書	三書

の形

け惣派の取と見く武書二書の水派和の取とゆ

と九の取

武書二書

水派和の取

元	元
元	二書
二書	三書

三書 武書

け武書二書水派の和の内次方の元三派に減して

解りに書の水派武派何れとゆゑ其形九の取

二書
三書

中派と武書二書水派和減して内次方の元三派

に減して解りに書の水派武派何れとゆゑ

すくは書の九紙九紙と云

に書の子紙九紙と云此書の子紙八紙と果か

各紙と云

今七の子有二書の子紙八紙六紙二書の子紙八紙六紙

但此書小同各子有各代紙何紙と云

一書 二書 三書 四書 五書 六書 七書 八書 九書

二書 三書 四書 五書 六書 七書 八書 九書

七書

茶紙と推く想代紙の紙と云九の

想代紙

の紙

紙							七書
紙	紙						六書
紙	紙	紙					八書
紙	紙	紙	紙				九書
紙	紙	紙	紙	紙			二書
紙	紙	紙	紙	紙	紙		三書
紙	紙	紙	紙	紙	紙	紙	四書
紙	紙	紙	紙	紙	紙	紙	五書
紙	紙	紙	紙	紙	紙	紙	六書
紙	紙	紙	紙	紙	紙	紙	七書

は各代紙の紙と云く二書の子紙と云く六書の代紙と云く

紙 紙 二書 六書

頁 頁 頁 頁 七書 六書 九と一

はた二書の代銀の内右三書の代銀と減して餘り  
次方の頁二張とほり其餘九のこゝ

頁 頁 頁

左漸之六書の代銀六拾と是内三書の代銀六拾と減  
して次方の頁二張とほり三除くは左方の頁六拾  
とほり三書代銀六拾の内次方の頁貳張と減し  
く餘り三書の代銀三拾と得  
三書の代銀六拾と是次方の頁拾と累加して左

代銀と得

今七つ入字有る書貳書の代銀今く入拾六入三書  
七書の代銀今く九拾八但左方六同有る三書の代銀  
及右代銀行紙と同

書云 三書貳拾六入 貳書三拾八  
二書二拾六入 一書に拾八  
入書に拾六入 六書八拾八  
七書八拾六入

茶粥と推く惣代銀の形と得ると九のこゝ





和六拾と減して五書の五七限六八と減して七と減して  
 次方の五八と減して

一書或書代和六拾の内五書の五八と減して得り  
 一書の代和或限八拾と減して一書代和或拾と減して  
 一書の代和或拾八と減して五書の五八と減して得る  
 一書代和或拾と減して

今二五入五有き書の代和百或拾八八書六書代和和  
 或百九拾八八但和才八同差之代和何得と問

一書 一書 或書 二書  
百六拾 百六拾 百六拾 百六拾

一書 二書 三書 六書  
百六拾 百六拾 百六拾 百六拾

和六拾と推して和代和の和と得ると九のと一

和代和

五						
五	五					
五	五	五				
五	五	五	五			
五	五	五	五	五		
					一書	
					二書	
					三書	
					六書	

右各代和の形ふるをくま書書の代和二限と在るは  
 八書六書の代和和六八と減して其形九のと一

七書	七書
七書	七書
七書	七書
七書	七書
七書	七書
七書	七書
七書	七書

七	七
七	七
七	七
七	七
七	七
七	七
七	七

七書	七書
七書	七書
七書	七書

左の書二書代根の和の内右七書の代根武限と減  
 して残り次方の七九限と成る。

七	七
七	七
七	七
七	七
七	七
七	七
七	七

右の書二書代根の和の内右七書の代根武限と減

武限七書と減して次方の七九限と成る。

七書の代根七書と減して七九限と成る。

6

今七の字有七書武書代根七書入七書入七書

七書	七書	七書	七書
七書	七書	七書	七書
七書	七書	七書	七書
七書	七書	七書	七書

七書

前測と推く各代銀の取と得とたのべし

各代銀

取						
取	取					
取	取	取				
取	取	取	取			
取	取	取	取	取		
取	取	取	取	取	取	
	取	取	取	取	取	取
		取	取	取	取	取
			取	取	取	取
				取	取	取
					取	取
						取

は各代銀の取と得とたのべし  
 入に書入書二書七書の代銀取とたのべし

取	
取	取
取	取

取				
取	取			
取	取	取		
取	取	取	取	
取	取	取	取	取
取	取	取	取	取
	取	取	取	取
		取	取	取
			取	取
				取

は取と得とたのべし  
 入に書入書二書七書の代銀取とたのべし

粒也変衣と云ふ其粒九のこゝ

百拾久

の粒

頁	頁		
頁	頁	頁	頁

変衣と云

前の九に書入書六書七書の代根和の内変衣と書  
 式書<sub>の</sub>代根<sub>の</sub>和<sub>式</sub>限<sub>百拾久</sub>と減して解り  
 次方の頁拾六限と得ると其粒九のよのこゝ

頁				
頁	頁			
頁	頁	頁		
頁	頁	頁	頁	
頁	頁	頁	頁	頁
		頁		頁

本術云に書入書六書七書の代根和百拾久の内書  
 式書代根和<sub>百拾久</sub>式限と減して解次方の頁拾  
 六限<sub>八拾</sub>と得る拾六と云ふ除く<sub>二</sub>次方の頁<sub>八拾</sub>と得る  
 と書式書代根和<sub>百拾久</sub>と云ふ次方の頁<sub>八拾</sub>と減して  
 解と書代根和<sub>百拾久</sub>と得る<sub>二</sub>と云ふ<sub>二</sub>と書代根和<sub>百拾久</sub>と得る

七  
之書代限或拾と之江身の長八と累加して代限  
と邊

今七の子首二武書二書二の代限今一十六拾但次才小  
又之六書二書七書の代限今一十六拾但次才小  
同差之代限何と

書二書六武拾書六武拾書三書六  
武拾書六武拾書三書六

に書二書六入書六武拾書六書二書六

七書六武拾

亦書と推く武代限の形と何とたのと

長	長	長	長	長	長	書	即書
長	長	長	長	長	長	書	武書
長	長	長	長	長	長	書	三書
長	長	長	長	長	長	書	二書
長	長	長	長	長	長	書	七書
	長	長	長	長	長	書	
		長	長	長	長	書	
			長	長	長	書	
				長	長	書	

は各代限の形一武書二書二の代限の形と何と  
在一又之六書二書七書の代限の形と何とたのと其  
形各たの書のと

只云六拾入の形



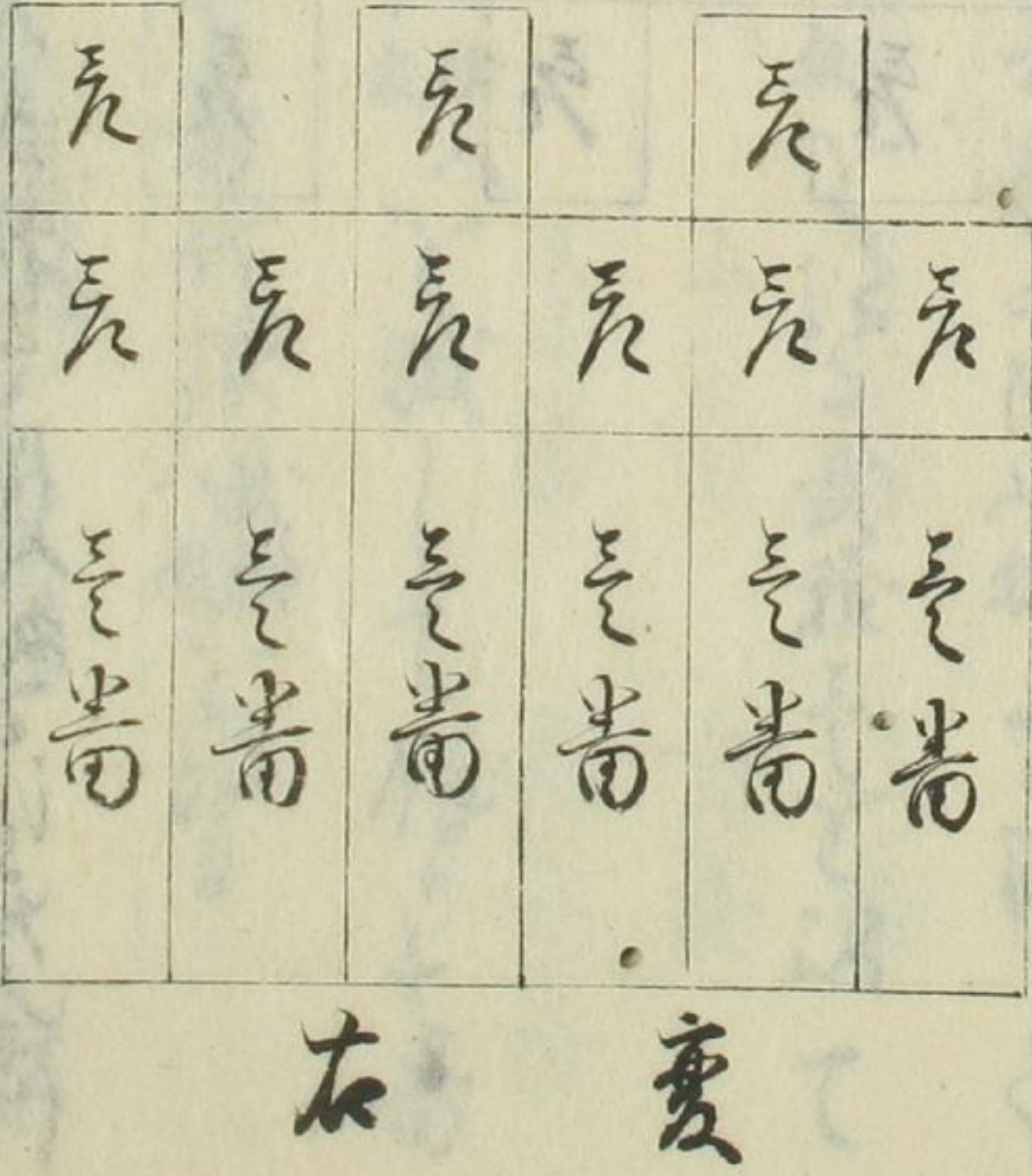
又云百入拾



又の形

は形と見ると凡た瓦を置き替の代張二限有右小瓦を置き替  
 の代張式限有右小瓦と云ふして百拾入を置き替の  
 代張六限の帯敷と云ふ又凡と云ふして百拾入を置き替  
 の代張六限の帯敷と云ふは右小瓦の形なり

只云三限百九拾入の形



又云式限二





巳各代渡何種の回

一書  
二書  
三書  
四書  
五書  
六書  
七書  
八書  
九書

一書  
二書  
三書  
四書  
五書  
六書  
七書  
八書  
九書

七書  
八書  
九書

茶樹紙推し各代渡の形と好むとたのこ

各代渡

一書			
二書	一書		
三書	二書	一書	
四書	三書	二書	一書
五書	四書	三書	二書
六書	五書	四書	三書
七書	六書	五書	四書
八書	七書	六書	五書
九書	八書	七書	六書

の形

一書			
二書	一書		
三書	二書	一書	
四書	三書	二書	一書
五書	四書	三書	二書
六書	五書	四書	三書
七書	六書	五書	四書
八書	七書	六書	五書
九書	八書	七書	六書

は各代渡の形より初云粒の形と好むとたのこ

初云或久

七書の形

一書		
二書	一書	
三書	二書	一書
四書	三書	二書
五書	四書	三書
六書	五書	四書
七書	六書	五書
八書	七書	六書
九書	八書	七書

衣







の長

八拾

に限

の形

長							
長	長						
長	長	長					
長	長	長	長	長	長	長	長
長	長	長	長	長	長	長	長
		長	長				長
			長				

本形六の長殺七の長八の長九の長十の長十一の長十二の長十三の長十四の長十五の長十六の長十七の長十八の長十九の長二十の長二十一の長二十二の長二十三の長二十四の長二十五の長二十六の長二十七の長二十八の長二十九の長三十の長三十一の長三十二の長三十三の長三十四の長三十五の長三十六の長三十七の長三十八の長三十九の長四十の長四十一の長四十二の長四十三の長四十四の長四十五の長四十六の長四十七の長四十八の長四十九の長五十の長五十一の長五十二の長五十三の長五十四の長五十五の長五十六の長五十七の長五十八の長五十九の長六十の長六十一の長六十二の長六十三の長六十四の長六十五の長六十六の長六十七の長六十八の長六十九の長七十の長七十一の長七十二の長七十三の長七十四の長七十五の長七十六の長七十七の長七十八の長七十九の長八十の長八十一の長八十二の長八十三の長八十四の長八十五の長八十六の長八十七の長八十八の長八十九の長九十の長九十一の長九十二の長九十三の長九十四の長九十五の長九十六の長九十七の長九十八の長九十九の長百の長

後之七の長八の長九の長十の長十一の長十二の長十三の長十四の長十五の長十六の長十七の長十八の長十九の長二十の長二十一の長二十二の長二十三の長二十四の長二十五の長二十六の長二十七の長二十八の長二十九の長三十の長三十一の長三十二の長三十三の長三十四の長三十五の長三十六の長三十七の長三十八の長三十九の長四十の長四十一の長四十二の長四十三の長四十四の長四十五の長四十六の長四十七の長四十八の長四十九の長五十の長五十一の長五十二の長五十三の長五十四の長五十五の長五十六の長五十七の長五十八の長五十九の長六十の長六十一の長六十二の長六十三の長六十四の長六十五の長六十六の長六十七の長六十八の長六十九の長七十の長七十一の長七十二の長七十三の長七十四の長七十五の長七十六の長七十七の長七十八の長七十九の長八十の長八十一の長八十二の長八十三の長八十四の長八十五の長八十六の長八十七の長八十八の長八十九の長九十の長九十一の長九十二の長九十三の長九十四の長九十五の長九十六の長九十七の長九十八の長九十九の長百の長

八の長と減して得る九の長八拾に限八拾と得る八拾に限り除く次方の長九拾と得る

次方の長九拾十と減して得る十と得る十と減して得る十一と減して得る十二と減して得る十三と減して得る十四と減して得る十五と減して得る十六と減して得る十七と減して得る十八と減して得る十九と減して得る二十と減して得る二十一と減して得る二十二と減して得る二十三と減して得る二十四と減して得る二十五と減して得る二十六と減して得る二十七と減して得る二十八と減して得る二十九と減して得る三十と減して得る三十一と減して得る三十二と減して得る三十三と減して得る三十四と減して得る三十五と減して得る三十六と減して得る三十七と減して得る三十八と減して得る三十九と減して得る四十と減して得る四十一と減して得る四十二と減して得る四十三と減して得る四十四と減して得る四十五と減して得る四十六と減して得る四十七と減して得る四十八と減して得る四十九と減して得る五十と減して得る五十一と減して得る五十二と減して得る五十三と減して得る五十四と減して得る五十五と減して得る五十六と減して得る五十七と減して得る五十八と減して得る五十九と減して得る六十と減して得る六十一と減して得る六十二と減して得る六十三と減して得る六十四と減して得る六十五と減して得る六十六と減して得る六十七と減して得る六十八と減して得る六十九と減して得る七十と減して得る七十一と減して得る七十二と減して得る七十三と減して得る七十四と減して得る七十五と減して得る七十六と減して得る七十七と減して得る七十八と減して得る七十九と減して得る八十と減して得る八十一と減して得る八十二と減して得る八十三と減して得る八十四と減して得る八十五と減して得る八十六と減して得る八十七と減して得る八十八と減して得る八十九と減して得る九十と減して得る九十一と減して得る九十二と減して得る九十三と減して得る九十四と減して得る九十五と減して得る九十六と減して得る九十七と減して得る九十八と減して得る九十九と減して得る百の長

その書の代限七と次方の長九と果加して各代限と得る

9 今上は道首と云ふは昔の代限合くそをぬき

八重に云に書六書二書の代根令くは又二書一書より  
 元を倍増して各代根の形とす

書一 二書二書三書 四書五書 六書七書

に書九書 八書七書六書五書四書

先き書六の代根の形九の二

二書 四書

は二書代根小を書六書代根元を根加して二書の代根とす

元一 二書 四書

は三書代根小を書六書代根元を根加して三書の代根とす

元二 元一 二書 三書

は四書代根小を書六書代根元を根加して四書の代根とす

元三 元二 元一 二書 三書 四書

は五書代根小を書六書代根元を根加して五書の代根とす

元四 元三 元二 元一 二書 三書 四書 五書

は六書代根小を書六書代根元を根加して六書の代根とす

元五 元四 元三 元二 元一 二書 三書 四書 五書 六書

は七書代根の形小にして七書代根の形と得る在るに又  
 又七書の形と得る在るに七書の形と得る在るに

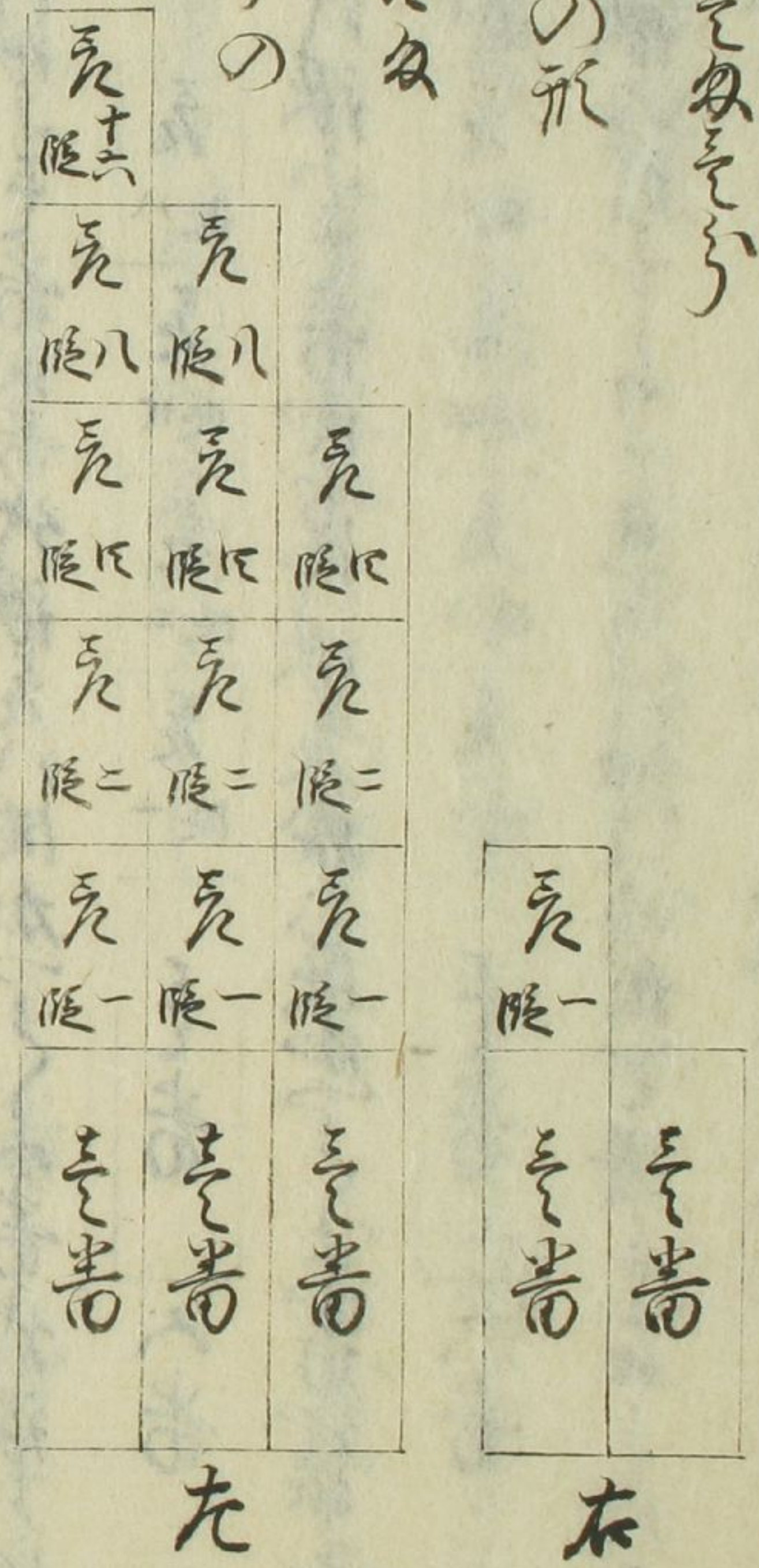
只云はぬそふ

みせの形

又云はぬ

二ふの

形



左

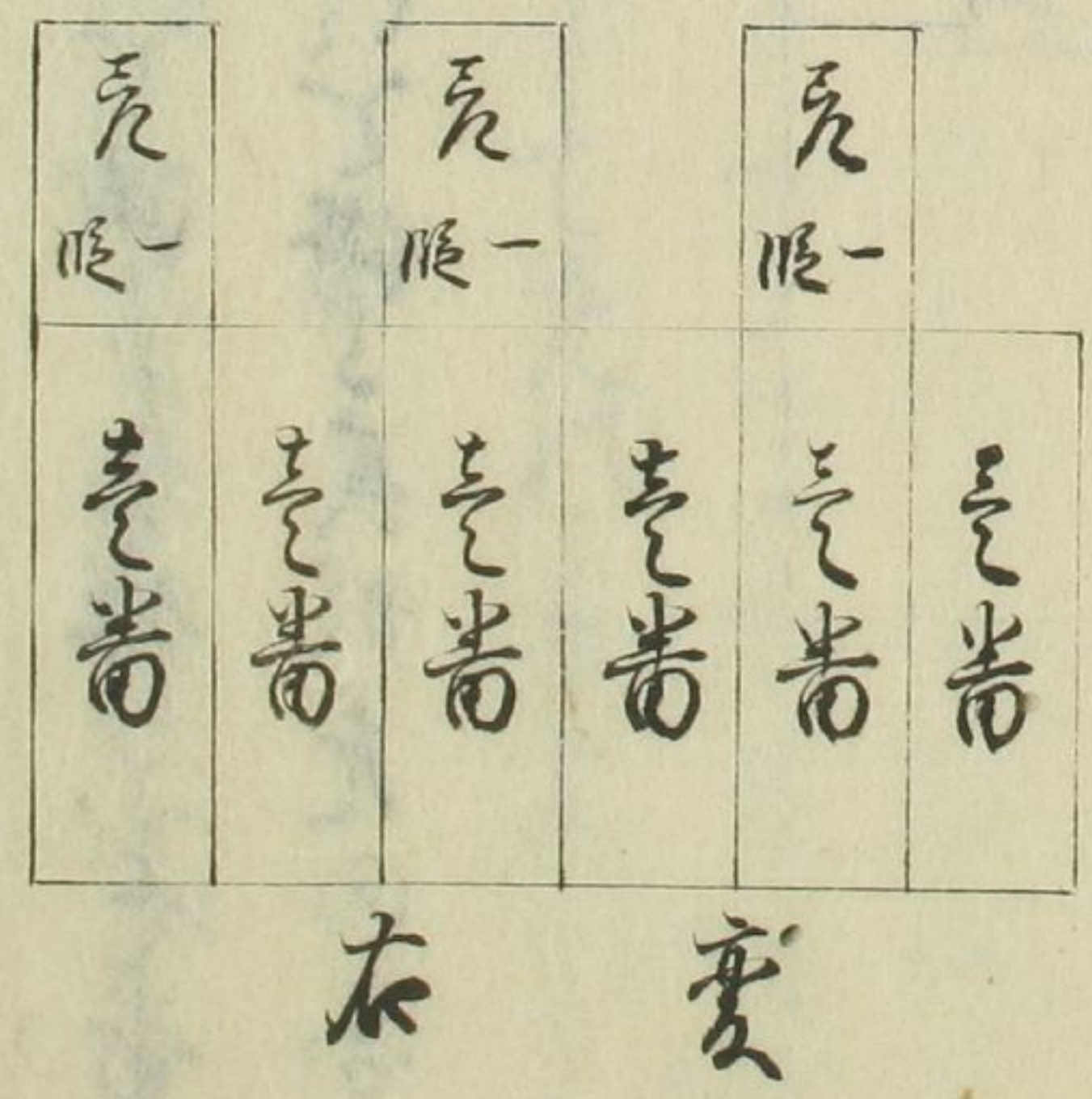
右

は形とるに右ふそそ書の代銀武腰有左ふそそ  
 書の前代銀三腰有右ふそそ瓦三腰有左ふそそ  
 とそ書代銀六腰の帯殺と右ふそそ 又云はぬと

倍して八ふとそ書代銀六腰の帯殺と右ふそそ

只云殺三腰三ぬ

にふ八ふの形



右

左

又云殺

或腰八



左

成る

の形

瓦	瓦	
脛八	脛八	
瓦	瓦	瓦
脛七	脛七	脛七
瓦	瓦	瓦
脛二	脛二	脛二
瓦	瓦	瓦
脛一	脛一	脛一
瓦	瓦	瓦
脛一	脛一	脛一
瓦	瓦	瓦
脛一	脛一	脛一

九

は変太に成ると云く変太に成ると減して解りなき書  
 式書の代紙の瓦百。二脛に成ると増す其形九の形  
 のこと

瓦	瓦	
脛八	脛八	
瓦	瓦	瓦
脛七	脛七	脛七
瓦	瓦	瓦
脛二	脛二	脛二
瓦		瓦
脛一		脛一

瓦	瓦	
脛八	脛八	
瓦	瓦	瓦
脛七	脛七	脛七
瓦	瓦	瓦
脛二	脛二	脛二
	瓦	
	脛一	

諸瓦各々書式書の瓦小変して九れこと

瓦書式書代紙瓦百。二脛

中洲云云云教二脛に成ると云く又云教二脛に成ると  
 減して解りなき書式書代紙瓦百。二脛に成ると増す  
 百。二と云く除くは書式書代紙瓦百と増す  
 瓦書式書代紙の瓦百と増して瓦書式書代紙

とくは二書に書<sub>レ</sub>の代<sub>ハ</sub>浪<sub>ル</sub>と入<sub>レ</sub>信<sub>シ</sub>て書<sub>ル</sub>書<sub>ル</sub>  
の代<sub>ハ</sub>浪<sub>ル</sub>と入<sub>レ</sub>信<sub>シ</sub>て書<sub>ル</sub>書<sub>ル</sub>の代<sub>ハ</sub>浪<sub>ル</sub>と入<sub>レ</sub>信<sub>シ</sub>て書<sub>ル</sub>  
と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>  
と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>と云<sub>フ</sub>  
加<sub>フ</sub>て云<sub>フ</sub>代<sub>ハ</sub>浪<sub>ル</sub>と云<sub>フ</sub>

10 浪<sub>ル</sub>三百拾<sub>ハ</sub>女<sub>ト</sub>と上<sub>レ</sub>中<sub>下</sub>二<sub>ノ</sub>不<sub>レ</sub>あ<sub>ル</sub>上<sub>レ</sub>中<sub>ハ</sub>拾<sub>ハ</sub>女<sub>ノ</sub>  
中<sub>レ</sub>より下<sub>ニ</sub>至<sub>ル</sub>武<sub>拾</sub>女<sub>多</sub>一<sub>ノ</sub>中<sub>ハ</sub>浪<sub>ル</sub>各<sub>女</sub>  
何<sub>レ</sub>社<sub>ニ</sub>同

上<sub>レ</sub>百<sub>三</sub>拾<sub>ハ</sub>女<sub>ノ</sub> 中<sub>百</sub>拾<sub>ハ</sub>女<sub>ノ</sub> 下<sub>百</sub>拾<sub>ハ</sub>女<sub>ノ</sub>

浪<sub>ル</sub>と推<sub>シ</sub>て浪<sub>ル</sub>の形<sub>ト</sub>は<sub>レ</sub>た<sub>ノ</sub>と一

浪 <sub>ル</sub> 三百八	武 <sub>拾</sub> 女 <sub>ノ</sub>	中 <sub>ハ</sub> 浪 <sub>ル</sub>	下 <sub>ハ</sub> 浪 <sub>ル</sub>
拾 <sub>ハ</sub> 女 <sub>ノ</sub> 形	拾 <sub>ハ</sub> 女 <sub>ノ</sub>	中 <sub>ハ</sub> 浪 <sub>ル</sub>	所 <sub>中</sub> 浪 <sub>ル</sub>
	中 <sub>ハ</sub> 浪 <sub>ル</sub>	上 <sub>ハ</sub> 浪 <sub>ル</sub>	

浪<sub>ル</sub>の形<sub>ト</sub>は<sub>レ</sub>上<sub>レ</sub>中<sub>ノ</sub>少<sub>ク</sub>女<sub>ト</sub>中<sub>ノ</sub>下<sub>ノ</sub>多<sub>ク</sub>女<sub>ト</sub>  
と浪<sub>ル</sub>して中<sub>ノ</sub>浪<sub>ル</sub>に<sub>レ</sub>浪<sub>ル</sub>拾<sub>ハ</sub>女<sub>ト</sub>は<sub>レ</sub>た<sub>ノ</sub>と一

三百拾  
拾<sub>ハ</sub>女<sub>ノ</sub>形

中	中	中
---	---	---

本術之想浪三拾に五内上ノ中ノ少拾六と中ノ下ノ多  
 武拾八多として候減して解中ノ少浪三限拾六とほること  
 以て除く中ノ少浪拾六とほる

中ノ少浪拾六とほるたふ小多九ノ中ノ下ノ多八拾と  
 た加して下ノ少浪拾六とほるたふ中ノ上ノ多拾八と  
 加して上ノ少浪拾六とほる

浪武百六拾に多してに八小多とそ書る武書八八多少  
 武書八二書を九多と一三書に書る拾八多  
 一三書に書る及に少浪拾八多

一三書に書る 二書七拾二多 一書八拾八多  
 一三書に書る 二書七拾二多 一書八拾八多  
 一三書に書る 二書七拾二多 一書八拾八多

		拾八多		
想浪武百		九多	六多	に書
六拾に多		六多	六多	三書
の形		六多	六多	武書
六多	六多	に書	に書	一書

け想浪の形より一多と一三書に書るの少 拾八多と五内武  
 書より三書に書ると減して解中ノ少拾六とほること  
 拾八多と一三書に書る



式昔の少く加つて拾七とひくゝ想浪拾百六と減して  
 解に昔の大浪二限と二昔の大浪を限の和拾七とひくゝ  
 と解たのこ

拾八多		拾八多	
		九多	二多
拾八多		二多	二昔
拾八多		二多	二昔
拾八多		二多	二昔

右の式百に小二昔の少拾八多二限拾八多と加つて二昔  
 の大浪に限拾百九とひくゝと解たのこ

拾八多		拾八多	
九多		二多	
拾八多		二多	二昔
拾八多		二多	二昔
拾八多		二多	二昔

中術六二昔の少拾八多と内式昔の二昔の多  
 九と減して解六と倍して多小を昔の式昔の少  
 と加つて多七とひくゝ想浪拾百六と減して解四昔の大浪  
 二限二昔の大浪を限の和拾七とひくゝ二昔の少  
 七多二限八多と加つて二昔の大浪に限拾百九減

はるにといひて除く二書の本七拾と云

三書本七拾と云田三書に書の本拾入と云て  
解に書の本八拾と云

三書本七拾と云田式書二書の本九と云て  
解式書本七拾と云てはるも小を書本式書の本八と云  
て二書の本九拾と云

田書本八拾と云田式書本八拾と云てはるも小を書本式書の本八と云  
解減して解に書の本八拾と云てはるも小を書本式書の本八と云  
て二書の本九拾と云

と云る田知と云て解式書の本八拾と云てはるも小を書本式書の本八と云  
て二書の本九拾と云

七つ入子代根合二書本七拾と云てはるも小を書本式書の本八と云  
解式書二書本七拾と云てはるも小を書本式書の本八と云  
入書本七拾と云てはるも小を書本式書の本八と云  
八本書也七書の本代根及子代根は云

- 三書本七拾
- 二書本九
- 一書本八
- 七書本七拾
- 六書本七拾
- 五書本七拾
- 四書本七拾
- 三書本七拾
- 二書本七拾
- 一書本七拾

えき書の代紙の形と違ふ其行たのこ

--

き書

別小き書の代紙と違ふこ書は武書の形入多とがく  
く別武多代紙と入多はこ書の代紙とがくこ書  
武書の代紙和と入たのこ

入

き書

武書

別小武書はこ書の代紙と違ふ武書の代紙と職して  
解りこ書の代紙と入たのこ書武書の代紙の

和合へり所き書武書こ書の代紙の和と入た

のこ

入	武
七	七

き書

武書

こ書

別小こ書の代紙と違ふこ書はこ書の多入格と加  
つこに書の代紙と入たはこ書の代紙とがくこ書の  
代紙がくこ書とりに書近の代紙の和と入  
たのこ

拾六文	六文	貳文	七文
	六文	貳文	
拾六文			

別小に青の代銀とまきくに青入青の初給をと賦して入青の代銀とん右しき書に青との代銀の初加つくま書入青との代銀初といたのこと

貳文	
まき青	

拾六文	六文	貳文	七文
	六文	貳文	
拾六文			

別小入青の代銀とまき入青の少貳拾と賦して入青の代銀とん右しき書入青との代銀の初加つくま書入青との代銀の初加つくま書との代銀の初加つくま書との代銀の初

貳文	拾七文	
		まき青

別六書の代根とあつて四六書と七書の代根の少  
 少と減して七書の代根と左の七書と右の七書と六書と  
 の代根の和ふあつて七書と七書の代根の和ふ  
 是所て代根之其和たのこし。

	拾七々	拾七々	拾七々	拾七々	拾七々
	八々	八々	八々	八々	八々
二書	六書	七書	八書	九書	十書

			拾七々	拾七々	拾七々	拾七々	拾七々
			八々	八々	八々	八々	八々
七書	七書	七書	七書	七書	七書	七書	七書
二書	六書	七書	八書	九書	十書	十一書	十二書

は頭を代根の和として身一乃得るは故り

浙一田書して傳ふは

浙云は代根の和として身一乃得るは故り

を限か武限か六限お保く百二拾とほる以く想浪  
二百二と減して解り七書八拾の代浪百六拾とほる七と以  
く除く七書二拾の代浪百六拾とほるかにかつく二拾と六書  
の代浪百六拾とわつく二拾と入書二拾の代浪百六拾と  
入二拾とわつく二拾と六書二拾の代浪百六拾と減して解  
九拾と二書二拾の代浪百六拾と入七とわつく二拾と武書二拾の代浪  
と入内かと減して解二拾と五書二拾の代浪百六拾  
か減く二書二拾の武書二拾の多二拾衣子武書二拾の少二拾衣子  
内子と減して解二拾衣子二拾に書二拾入書二拾の少二拾衣子二拾二書二拾

よかに書二拾の多二拾の内言と減して解二拾衣子二拾入書二拾と二書二拾  
の少二拾衣子の内言と減して解二拾衣子二拾衣子二拾の少二拾衣子二拾と衣  
子二拾一二拾丑二拾寅二拾卯二拾辰二拾巳二拾未二拾申二拾酉二拾戌二拾亥二拾とほる七と以く除く七書  
想浪二百二と減して解二拾衣子二拾とほる七と以く除く七書  
の代浪二百二とほる七と以く除く七書  
浪百武拾二百二とよみ人下三人二拾分る上ま一人二拾の衣子二拾  
下ま一人二拾の衣子二拾九二拾衣子二拾上ま一人二拾の衣子二拾九二拾衣子二拾と  
言ふ上ま一人二拾拾二拾衣子二拾下ま一人二拾九二拾衣子二拾  
茶粥と推く想浪の形とほる七と以く除く七書

想 浪  
 百 式  
 拾 三  
 九 々  
 飛

九 々	九 々	九 々	九 々	九 々				
下 々	下 々	下 々	下 々	下 々	下 々	下 々	下 々	下 々
上 々	上 々	上 々	上 々	上 々	上 々	上 々	上 々	上 々

け想浪の形よりうらまへしよまへんが下まへんの少奴こ  
 浪と想浪小かしく切飛たのまへ

九 々	九 々	九 々	九 々	九 々	九 々	九 々	九 々
下 々	下 々	下 々	下 々	下 々	下 々	下 々	下 々
上 々	上 々	上 々	上 々	上 々	上 々	上 々	上 々

中流云想浪百式拾三と云よまへんが下まへんの少奴こ  
 浪と加しく百八と切る想人殺しと云く除くよまへん





に	に	に						
入	入	入	入	入	加	加	加	加
下	下	下	下	下	下	下	下	下
上	上	上	中	中	中	中	中	中

は形とるく又上をへ中をへの少は六段を加く  
 入粒の和の同の上をへの少は六段を加く

に	に	に	加	加	加	加	加	加
入	入	入	入	入	加	加	加	加
下	下	下	下	下	下	下	下	下
上	上	上	上	上	上	上	上	上

中洲之中をへ下をへの少は下の入粒にとあく  
 或拾とほは下をへ上をへの少は中をへの少は中下入



は想限の形と見くく術と施とことたのこし

術云甲ノ粒ニ小裏拾と云しては限ハ拾又シノ粒三小  
裏リ拾と云しては限九拾又丙ノ粒八小裏拾と云  
武限百拾又丁ノ粒七小裏拾と云しては限七拾右  
に位お帰く<sup>二百七拾</sup>拾と云しては<sup>七拾</sup>想限<sup>七拾</sup>と云して  
解百<sup>七拾</sup>と云しては想ノ粒の周<sup>七拾</sup>成<sup>七拾</sup>と云しては<sup>七拾</sup>実と  
以甲ノノ粒三ノ粒五丁ノ粒七戌ノ粒九お帰く  
二十と云しては<sup>七拾</sup>と云しては<sup>七拾</sup>と云しては<sup>七拾</sup>と云しては<sup>七拾</sup>  
拾と云しては<sup>七拾</sup>と云しては<sup>七拾</sup>と云しては<sup>七拾</sup>

限百武拾と云と上下の武細と云は但上を細と云二人上より  
次方小人を裏り下を細と云一人を昔と云次方小と云  
裏り小と云と入上を昔と下を昔と云限同粒あり  
各を昔の五組及各五組の程と云

言云 上下を昔と云は各武拾と云

上武昔拾と云

上二昔拾と云

下武昔拾八と云

下三昔拾八と云

下に昔拾武と云

下八昔九と云

術と推く想限の形と云とたのこし





中洲の上は青の下二音の多は六三限下次音の多は三三限上  
 次音の多は七六限上帰く九多と以て熱石百或拾と減して  
 解六多熱く殺の同。上は音の多は五八多熱く殺と以て  
 除く上は音の多は八と帰く次音の多は七と累加して上  
 音多限と得。上は音の多は八と五八多と加して  
 下二音の多は九と帰く下は音の多は三と累加して  
 下音多限と得。

17 限百。八多と下人ふらう上の多は六中。の多は五拾多  
 かつ中の多は八下の多は五拾多八多と上の多は

及音多限の多

音多 上百七拾多 中百拾多 下百或拾多

熱石六とくく熱石の形と帰くと九のとく

熱石百。		拾八多		
八多の多		中	中	下
		中	中	下中
		上		

熱石の形とくく熱石の田中下の多 拾八多と減して  
 解り小上中の多は六或武限と加して上の多は九拾八多  
 と帰くと九のとく

六拾久	中	上
六拾久	中	上
六拾久	中	上

中洲之想限入久とて内中下之多拾久と減して録り  
 上中の方六拾久武限と加して上の五拾二限入百と録り  
 下中除く上の五拾七と録り内上中の方二拾と減  
 して中の五拾百拾と録り是中下之多拾久と加し  
 くと下の五拾入久と録り

18

限を貫百武拾久と記入ふらうそ書る武書を九拾久

増し武書二書を百八拾久裏り二書に書る百七拾久

十一二書の五拾及五拾限行同

三書 武書二拾久 武書二拾久  
 二書百七拾久 三書二百拾久

是と書の五拾の飛たのこし

三書

別ふはと書五拾とて武書の増九拾かつて武書の五拾久  
 三書の五拾加へて三書武書の五拾の和とて  
 具飛たのこし







